

和歌山県立伊都中央高等学校 学校運営協議会

令和元年度 第1回 5月15日(水)

出席者 委員6名、事務局3名

議題

- ① 会長・副会長の選出
- ② 定時制課程及び通信制課程の取組について説明
- ③ 本年度の学校運営方針の説明及び承認
- ④ 協議・その他

議論した主な内容

- ①学校運営協議会において任命書を交付し、委員及び事務局職員の紹介を行った後、会長・副会長を選出した。
- ②教頭より、パンフレットとリーフレットに基づき、本校の定時制課程・通信制課程の説明を行い、教育課程や特徴的な取組についてご意見をいただいた。
- ③校長より、学校評価シート(定・通)を用いて、本校の学校運営方針を説明し、協議の後、承認いただいた。また、中学卒業生徒の人数減少が避けられない中、本校の将来構想について、協議した。
- ④協議内容について
 - ・地域コミュニティとの連携について、ボランティア活動をどのように活性化していくかなど、生徒状況を踏まえて協議した。
 - ・特別支援教育の観点から、生徒への支援のあり方について意見交換した。
 - ・通信制課程のあらたな取組や学び直し講座について、その方向性も含めて協議した。

学校運営協議会委員(敬称略)

北浦 健司	野田 幹也	平家 利也	森口 佳幸
堀畑 佳久	森本 敏夫	神崎 良子	川久保尚志

和歌山県立伊都中央高等学校 学校運営協議会

令和元年度 第2回 9月8日(日)

出席者 委員7名、事務局3名

議題

- ① 1学期および夏休みの取組について
 - (1) 学校設定科目「生活デザイン」について
 - (2) 夏期集中講座「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」について
 - (3) 地域連携講座「地域探究 高野学」について
- ② きのくに学びの教室について
- ③ 通信制スクーリングについて(見学)
- ④ 協議・その他

議論した主な内容

- ① 教頭より、定時制開講科目「生活デザイン」、通信制開講科目「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「高野学」についての概要、取組の内容をワークシートやレジュメ等を用いて説明を行った。
現状の成果と課題について協議し、学校と地域との連携の重要性についてご意見をいただいた。
- ② 校長より、9月5日に開講した「きのくに学びの教室」についての説明を行い、教室等を見学した。
- ③ 通信制の日曜スクーリングの様子と校内の施設・設備等を見学し、ご意見やご感想をいただいた。
- ④ その他
今後の本校の特色ある取組について、ご意見をいただき、協力の依頼を行った。

和歌山県立伊都中央高等学校 学校運営協議会

令和元年度 第3回 11月15日(金)

出席者 委員8名、事務局2名

議題

- ① 令和元年度文化祭について
 - (1) 文化祭の取り組みについての説明
 - (2) 舞台発表・展示・アトラクション・模擬店の見学
 - (3) 模擬店部門審査
- ② 協議・その他

議論した主な内容

- ①
 - (1) 校長より、定時制通信制合同開催の文化祭「令和最初のITO祭～新元号なのに変わんねえじゃん～」の取り組みについて説明を行った。
 - (2) 校長の案内のもと、体育館、中庭、教室等に移動し、舞台発表、モザイク画、展示作品、アトラクションや模擬店の見学及び体験を行い、生徒のいきいきとした活動や工夫を凝らした展示等についてご意見やご感想をいただいた。
 - (3) 生徒による各模擬店のプレゼンテーションの見学、試食を行い、模擬店部門の審査を行った。各グループやクラスの持ち味が発揮できており、高い評価をいただいた。
- ② 協議・その他
文化祭及び今後の取り組みについて、ご意見をいただき、協力の依頼を行った。

県立伊都中央高等学校 学校運営協議会

令和元年度 第4回 2月6日(木)

出席者：委員8名、事務局3名

議題

- ① 今年度の総括 成果と課題について
- ② 来年度に向けて 次年度の取組について
 - (1) 新たな学校設定科目等について
 - (2) その他 ①転入学・編入学について ②聴講生受け入れについて
- ③ 協議・その他

議論した主な内容

①校長より、今年度の成果と課題・将来構想について、紀北地方の児童生徒数推移のデータ等をもとに説明を行った。

続いて、本校の特色ある取組について協議を行った。特に、定時制課程2年生対象に実施しているジョブシャドウイングの目的や、地域の事業所との連携の在り方について、有意義なご意見をいただいた。

多様な課題を抱える生徒たちが、自己肯定感や自己有用感を持てるよう、よりよいジョブシャドウイングのあり方を考えるべきであると確認した。

②来年度に向けて、新たな学校設定科目等の紹介をし、協議を行った。

地域の拠点としての学校の役割についてご意見を頂いた。

学校が、生涯学習、社会教育、防災等、地域の拠点として機能できるよう、地域の協力を頂きながら検討していくことを確認した。

③その他

スポーツや文化活動、園芸等、余暇活動の充実につながるような取組を行い、体験や経験を積み上げることで生徒を学校と地域で支えていけるよう、協力をお願いした。